

製品名: DDR2 (腹水) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85933**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:200-1:1600
分子量	96.7kDa

抗原情報

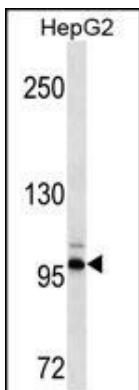
遺伝子名	DDR2(Ascites)
別名	Discoidin domain-containing receptor 2, Discoidin domain receptor 2, CD167 antigen-like family member B, Discoidin domain-containing receptor tyrosine kinase 2, Neurotrophic tyrosine kinase, receptor-related 3, Receptor protein-tyrosine kinase TKT, Tyrosine-protein kinase TYRO10, CD167b, DDR2, NTRKR3, TKT, TYRO10
遺伝子 ID	4921.0
SwissProt ID	Q16832
免疫原	この DDR2 抗体は、ヒト DDR2 の 290 ~ 320 アミノ酸からなる KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。

背景

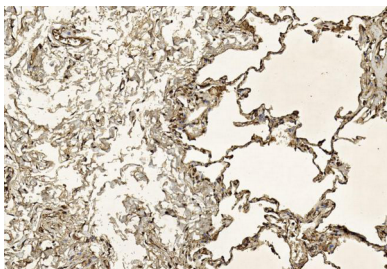
受容体チロシンキナーゼ (RTK) は、細胞と微小環境とのコミュニケーションにおいて重要な役割を果たします。これらの分子は、細胞の増殖、分化、代謝の調節に関与しています。いくつかの症例において、RTKが膜を介してシグナルを伝達する生化学的メカニズムは、リガンド誘導性受容体オリゴマー化とそれに続く細胞内リン酸化であることが示されています。この自己リン酸化は、細胞質標的のリン酸化と、シグナル伝達の多面的効果に関与する他の分子との会合につながります。RTKは、細胞外領域、膜貫通領域、細胞質領域の3部構造を有しています。この遺伝子は、RTKの新規サブクラスのメンバーをコードし、第VIII因子様ドメインを含む明確な細胞外領域を有しています。5' UTRにおける選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供]

研究分野

画像データ



HepG2 細胞株溶解物 (35 µg/レーン) における DDR2 抗体のウェスタン ブロット分析。これは、DDR2 抗体が DDR2 タンパク質 (矢印) を検出したことを示しています。



DDR2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺切片の免疫組織化学染色。DDR2 抗体は 1:200 に希釈した。二次抗体としてビオチン化ヤギ多価抗体 (未希釈) を用い、DAB 染色を行った。